



# 平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年7月28日

(コード番号：5852 東証第2部)

上場会社名 株式会社アーレステイ

(URL <http://www.ahresty.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 高橋 新  
問合せ先責任者 取締役管理本部長 熊木 勉

TEL：(03) 5332 - 6001

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
法人税等の計上基準：法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結(除外)1社 持分法(新規)1社  
(詳細は添付資料)

## 2. 平成18年3月期第1四半期の業績概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況 (金額表示：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	23,197	5.8	1,330	21.9	1,388	39.6	731	30.8
17年3月期第1四半期	21,935	37.9	1,091	—	994	—	559	—
(参考) 17年3月期	96,043		5,597		4,803		2,265	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	41.24	—
17年3月期第1四半期	31.16	—
(参考) 17年3月期	134.69	—

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。  
2. 営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成17年3月期第1四半期から開示を始めたため対前年同四半期増減率は—としてあります。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	67,969	21,975	32.3	1,239.02
17年3月期第1四半期	63,735	19,360	30.4	1,118.17
(参考) 17年3月期	67,768	21,415	31.6	1,204.49

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	3,663	△ 1,997	△ 518	3,731
17年3月期第1四半期	3,663	△ 1,686	△ 347	3,854
(参考) 17年3月期	8,679	△ 5,672	△ 3,533	2,566

### 【参考】平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

中間期、通期とも、平成17年5月13日の平成17年3月期決算発表時の予想を変更していません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	48,100	2,500	1,300
通期	98,000	5,300	2,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 155円37銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 平成18年3月期 第1四半期の業績概況 (連結)

### 〔経営成績〕

当第1四半期の連結業績は、売上高23,197百万円、営業利益1,330百万円、経常利益1,388百万円、当期純利益731百万円となりました。

ダイカスト部門におきましては、主要顧客である自動車メーカーの国内外の売上拡大に伴い、四輪部品の受注量が増加したことを受けて、売上高が21,235百万円、営業利益は1,249百万円となりました。

アルミニウム部門におきましては、販売量の拡大施策展開の効果により外部顧客からのダイカスト用合金地金及び铸件用合金地金の受注量が増加し、売上高1,115百万円、営業利益52百万円となりました。

完成品部門におきましては、建材部門では半導体、液晶メーカーの設備投資計画の鈍化や価格競争の激化、更に原材料の高騰の影響を受け、売上高が845百万円、営業利益が28百万円となりました。

また、園芸部門につきましては厳しい市場環境の下、平成17年6月24日に発表致しましたとおり園芸事業から撤退することになりました。

### 〔財政状態〕

当第1四半期における総資産は67,969百万円となり、前年同四半期末に比べ4,234百万円の増加となりました。増加の主な原因としては前期において連結子会社が5社増加したことと北米子会社の加工設備の導入をはじめとする有形固定資産の増加によるものです。

株主資本は21,975百万円となり、前年同四半期末に比べ2,615百万円増加し、株主資本比率は32.3%となり1.9ポイント改善されました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益1,226百万円、減価償却費1,204百万円、売上債権の減少額2,909百万円等により3,663百万円となりました。また投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出等により△1,997百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済△322百万円、配当金の支払△248百万円などにより△518百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は3,731百万円となり、前年同四半期末に比べ123百万円の減少となりました。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)		増減		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金及び預金	3,731		3,854		△123	△3.2	2,604	
受取手形及び売掛金	20,052		20,507		△455	△2.2	22,914	
たな卸資産	8,475		7,647		828	10.8	7,795	
その他	2,079		1,626		453	27.9	1,637	
流動資産合計	34,339	50.5	33,635	52.8	704	2.1	34,959	51.6
II 固定資産								
有形固定資産	24,951		21,761		3,190	14.7	24,308	35.9
無形固定資産	1,092		344		748	217.4	1,139	1.6
投資その他資産	7,586		7,993		△407	△5.1	7,360	10.9
固定資産合計	33,630	49.5	30,099	47.2	3,531	11.7	32,808	48.4
資産合計	67,969	100.0	63,735	100.0	4,234	6.6	67,768	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	19,914		19,182		732	3.8	19,491	
短期借入金	6,432		6,474		△42	△0.6	6,584	
その他	5,911		4,272		1,639	38.4	6,571	
流動負債合計	32,258	47.4	29,929	47.0	2,329	7.8	32,650	48.2
II 固定負債								
社債	1,000		1,000		—	—	1,000	
長期借入金	6,532		9,292		△2,760	△29.7	6,630	
退職給付引当金	3,002		2,718		284	19.5	2,917	
その他	3,100		826		2,274	245.5	3,052	
固定負債合計	13,635	20.1	13,837	21.7	△202	△1.5	13,602	20.1
負債合計	45,893	67.5	43,767	68.7	2,126	4.9	46,253	68.3
(少数株主持分)								
少数株主持分	100	0.1	607	0.9	△507	△83.5	98	0.1
(資本の部)								
資本金	1,691	2.5	1,691	2.7	—	—	1,691	2.5
資本剰余金	1,253	1.8	1,141	1.8	112	100.4	1,253	1.8
利益剰余金	18,101	26.6	15,940	25.0	2,161	7.1	17,657	26.1
その他有価証券評価差額金	1,723	2.5	1,714	2.7	9	0.5	1,762	2.6
為替換算調整勘定	△750	△1.1	△961	△1.5	211	△2.2	△906	△1.3
自己株式	△43	△0.1	△164	△0.3	121	△73.8	△41	△0.1
資本合計	21,975	32.3	19,360	30.4	2,615	13.5	21,415	31.6
負債、少数株主持分 及び資本合計	67,969	100.0	63,735	100.0	4,234	6.6	67,768	100.0

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期 第1四半期)		増減		(参考) 前連結会計年度 (平成17年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
		%		%		%		%
I 売上高	23,197	100.0	21,935	100.0	1,262	5.8	96,043	100.0
II 売上原価	19,897	85.8	19,169	87.4	728	3.8	82,969	86.4
売上総利益	3,299	14.2	2,766	12.6	534	19.3	13,074	13.6
III 販売費及び一般管理費	1,969	8.5	1,674	7.6	295	17.6	7,477	7.8
営業利益	1,330	5.7	1,091	5.0	240	22.0	5,597	5.8
IV 営業外収益	279	0.8	136	0.6	143	105.1	579	0.6
受取利息及び配当金	32		39		△7		87	
持分法による投資利益	51		28		24		15	
その他	196		68		128		474	
V 営業外費用	222	1.0	233	1.1	△11	△4.7	1,373	1.4
支払利息	57		65		△8	△12.3	301	
その他	165		167		△2	△1.2	1,071	
経常利益	1,388	6.0	994	4.5	394	39.6	4,803	5.0
VI 特別利益	8	0.0	13	0.0	△4	△30.8	2,461	2.5
VII 特別損失	170	0.7	32	0.1	138	431.25	1,093	1.1
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,226	5.3	974	4.4	253	26.0	6,170	6.4
税金費用	494	2.1	387	1.8	108	27.9	2,708	2.8
少数株主利益 (減算)	0		27	0.1	△27	△100	1,196	1.2
四半期 (当期) 純利益	731	3.2	559	2.5	172	30.8	2,265	2.4

### 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月期 第 1 四半期)	(参考) 前連結会計年度 平成 17 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,226	974	6,170
減価償却費	1,204	1,064	5,080
売上債権の増加額又は減少額（△：増加額）	2,909	1,572	△97
たな卸資産の増加額又は減少額（△：増加額）	△585	△340	△31
仕入債務の増加額（△：減少額）	391	186	29
その他	454	503	△1,279
小 計	5,601	3,962	9,872
法人税等の支払額	△1,907	△282	△973
その他	△29	△16	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,663	3,663	8,679
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券取得による支出	△54	△3	△53
有形固定資産取得による支出	△2,026	△1,921	△6,550
その他	83	237	931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△1,686	△5,672
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	2,780	5,750	23,140
短期借入金の返済による支出	△2,838	△5,550	△23,683
長期借入金の返済による支出	△264	△366	△2,188
配当金の支払額	△248	△177	△160
その他	53	△3	△642
財務活動によるキャッシュ・フロー	△518	△347	△3,533
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	16	10	△15
V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額 （△：減少額）	1,164	1,639	△543
VI 連結会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加高	—	—	894
VII 現金及び現金同等物の期首残高	2,566	2,215	2,215
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	3,731	3,854	2,566

#### 4. 四半期財務情報の作成等に係る事項

連結及び持分法の適用範囲の異動

- ・連結子会社 (除外) 1社 パスカル工業株  
菅原精密工業株はパスカル工業株と平成17年4月1日に合併し(株)アーレスティ山形と商号変更している。
- ・持分法適用会社 (新規) 1社 東海精工株

#### 5. セグメント情報

##### (1) 事業の種類別セグメント情報

【 当 第 1 四 半 期 】 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日) (単位：百万円)

	ダイカスト 部 門	アルミニウ ム 部 門	完成品部門	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	21,235	1,115	845	23,197	—	23,197
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	376	0	376	(376)	—
計	21,235	1,492	845	23,574	(376)	23,197
営業費用	19,986	1,439	817	22,243	(376)	21,866
営業利益	1,249	52	28	1,330	—	1,330

【 前 第 1 四 半 期 】 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日) (単位：百万円)

	ダイカスト 部 門	アルミニウ ム 部 門	完成品部門	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	19,859	910	1,165	21,935	—	21,935
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	386	0	386	(386)	—
計	19,859	1,296	1,165	22,321	(386)	21,935
営業費用	18,374	1,230	1,102	20,707	136	20,844
営業利益	1,485	66	62	1,614	(523)	1,091

【 前連結会計年度 】 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) (単位：百万円)

	ダイカスト 部 門	アルミニウ ム 部 門	完成品部門	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	85,669	3,835	6,538	96,043	—	96,043
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,492	2	1,494	(1,494)	—
計	85,669	5,327	6,541	97,538	(1,494)	96,043
営業費用	78,460	5,091	6,180	89,732	713	90,446
営業利益	7,208	236	361	7,806	(2,208)	5,597

(注) 1. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
ダイカスト部門	車両部品、汎用エンジン部品、産業機器部品
アルミニウム部門	アルミニウム合金地金
完成品部門	建築用床材、芝刈機、草刈機

2. 従来、主に提出会社の管理部門に係る費用については配賦不能営業費用としていたが、管理部門に係る費用とセグメント別事業との関連性について見直しを行った結果、当該費用を各セグメントに負担させることがセグメント別の営業損益をより適切に表示するとの判断に至ったため、当連結会計年度より各セグメントに配賦する方法に変更している。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第1四半期の営業利益は、ダイカスト部門556百万円、アルミニウム部門6百万円及び完成品部門5百万円減少している。

## (2) 所在地別セグメント情報

【 当 第 1 四 半 期 】 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)

(単位：百万円)

	日 本	北 米	その他の地域	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	19,701	3,319	176	23,197	—	23,197
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	172	0	4	178	(178)	—
計	19,874	3,320	180	23,375	(178)	23,197
営業費用	19,000	2,869	175	22,044	(178)	21,866
営業利益	874	451	5	1,330	—	1,330

【 前 第 1 四 半 期 】 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)

(単位：百万円)

	日 本	北 米	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	19,313	2,622	21,935	—	21,935
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	176	15	192	(192)	—
計	19,490	2,638	22,128	(192)	21,935
営業費用	18,119	2,384	20,503	340	20,844
営業利益	1,370	253	1,624	(533)	1,091

【 前連結会計年度 】 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

(単位：百万円)

	日 本	北 米	その他の地域	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	83,719	11,531	791	96,043	—	96,043
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	666	42	73	782	(782)	—
計	84,386	11,574	864	96,825	(782)	96,043
営業費用	77,986	10,159	755	88,901	1,544	90,446
営業利益	6,400	1,414	109	7,924	(2,326)	5,597

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米…米国 その他の地域…欧州、東南アジア

3. 従来、主に提出会社の管理部門に係る費用については配賦不能営業費用としていたが、管理部門に係る費用とセグメント別事業との関連性について見直しを行った結果、当該費用を各セグメントに負担させることがセグメント別の営業損益をより適切に表示するとの判断に至ったため、当連結会計年度より各セグメントに配賦する方法に変更している。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、当第1四半期の営業利益は、日本が562百万円、北米が10百万円及びその他の地域が5百万円減少している。

### (3)海外売上高

【 当 第 1 四 半 期 】 (自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)

(単位：百万円)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	3,320	203	3,524
II 連結売上高 (百万円)			23,197
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	14.3	0.9	15.2

【 前 第 1 四 半 期 】 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)

(単位：百万円)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	2,622	40	2,662
II 連結売上高 (百万円)			21,935
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	11.9	0.2	12.1

【 前連結会計年度 】 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

(単位：百万円)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	11,535	901	12,436
II 連結売上高 (百万円)			96,043
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	12.0	0.9	12.9

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北米……………米国

その他の地域…欧州、アジア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。